

令和6年度 指定管理者制度導入施設一覧

区分		施設名	指定管理者	所管課	総合評価	年間利用者数
公募施設	1	たつの市道の駅しんぐう	株式会社共立ソリューションズ	観光振興課	B	69,768人
	2	たつの市道の駅みつ	株式会社清交倶楽部	観光観光課	B	297,120人
	3	たつの市国民宿舎志んぐ荘	株式会社共立ソリューションズ	商工振興課	C	47,314人
	4	たつの市新宮温水プール	株式会社アクアティック	スポーツ振興課	B	42,004人
非公募施設	5	たつの市福社会館	公益社団法人たつの市・太子町広域シルバー人材センター	高年福祉課	B	5,988人
	6	たつの市新宮ふれあい福社会館	社会福祉法人たつの市社会福祉協議会	高年福祉課	B	23,459人
	7	たつの市御津やすらぎ福社会館	社会福祉法人たつの市社会福祉協議会	高年福祉課	B	25,424人
	8	たつの市老人福祉センター	社会福祉法人たつの市社会福祉協議会	高年福祉課	B	3,658人
	9	たつの市中央児童館	社会福祉法人たつの市社会福祉協議会	児童福祉課	B	7,445人
	10	たつの市はつらつセンター入浴施設	社会福祉法人たつの市社会福祉協議会	健康課	B	95,359人
	11	たつの市揖西コミュニティセンター	揖西コミュニティセンター管理運営委員会	社会教育課	B	9,082人
	12	たつの市揖保コミュニティセンター	揖保コミュニティセンター運営委員会	社会教育課	B	4,809人
	13	たつの市誉田コミュニティセンター	誉田コミュニティセンター運営委員会	社会教育課	B	4,937人
	14	たつの市神岡コミュニティセンター	神岡コミュニティセンター管理運営委員会	社会教育課	B	6,605人
	15	たつの市西栗栖コミュニティセンター	たつの市西栗栖コミュニティセンター管理運営委員会	社会教育課	B	3,138人
	16	たつの市東栗栖コミュニティセンター	たつの市東栗栖コミュニティセンター管理運営委員会	社会教育課	B	5,463人
	17	たつの市香島コミュニティセンター	たつの市香島コミュニティセンター管理運営委員会	社会教育課	B	5,436人
	18	たつの市越部コミュニティセンター	たつの市越部コミュニティセンター管理運営委員会	社会教育課	B	1,087人
	19	たつの市半田コミュニティセンター	半田コミュニティ運営委員会	社会教育課	B	3,379人

20	たつの市河内コミュニティセンター	河内コミュニティ運営委員会	社会教育課	B	4,686人
21	たつの市室津センター	室津センター運営委員会	社会教育課	B	2,329人
22	たつの市総合文化会館赤とんぼ文化ホール	公益財団法人童謡の里龍野文化振興財団	社会教育課	B	82,971人
23	たつの市総合文化会館アクアホール	公益財団法人童謡の里龍野文化振興財団	社会教育課	B	41,679人
24	たつの市青少年館	公益財団法人童謡の里龍野文化振興財団	社会教育課	B	69,431人
25	霞城館	公益財団法人童謡の里龍野文化振興財団	社会教育課	B	4,787人
26	矢野勘治記念館	公益財団法人童謡の里龍野文化振興財団	社会教育課	B	
27	たつの市本龍野駅観光交流施設	たつの市観光協会・県民交流広場「やさしさを育むまち小宅」推進委員会共同事業体	都市計画課	B	17,724人

年間利用者数合計	885,082人
----------	----------

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市道の駅しんぐう

施設担当課:

産業部観光振興課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	A
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		前年までの地場産果物のいちご・いちじく・梨に加え今年からぶどうの出荷が増え地場産果物の多様化が進んでいる。ソフトクリームの販売数は前年に対し微増ではあるが、地元産あんこいちごを使用した商品の比率が高くなっている。11月の「市民まつり」、3月の「しんぐうふるさとフェスタ」に参加し商品PRを実施し道の駅へのリピーター客の増加に努めた。 前年からの米不足によりたつの市産の米の入荷が激減しほぼ新産の米売上はありません。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
観光客、地場住民の方にご利用いただけるように、常に新鮮味のある売り場作り作り、お客様の要望もお聞きした中で季節に合わせた果物や地産品の展開強化でリピーターが安定して確保出来た。前年同様に志んぐ荘とのタイアップ(売店販売)した道の駅しんぐうの利用促進図れた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
果物類、菓子類は地元農家や製造者とも連携しながら、市民の方のオーダーに対応できる商品補充(冷蔵庫での在庫確保)を進められた。地元の方からの進物品(素麺・果物等)の商品発送を低価格で発送できるよう企画している。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
パート従業員に発注の権限を委嘱し、駅長の公休日や不在の折も商品発注が途切れないことにより仕入ロスが削減できた。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
人件費額は最低賃金の過去最高の上昇等があり、前年及び予算を上回ったが、売上金に対する率ではほぼ前年並みであった。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
前年比109.6%(7,396千円増)、利用数も月平均387人増えて商品売上は当初予算以上の成果。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

ホームページ、SNSを活用した情報発信、。新商品やイベント企画(季節果物、地産品)の情報発信強化。

地場産品の商品開拓。レストラン・ふれあい市場との連携販売企画立案。

《施設所管課が実施・検討する事項》

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市道の駅みつ

施設担当課：

産業部観光振興課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	A
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)			
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)特に週末にかけては、駐車場が満車になるほど、大変多くのお客様に利用いただいています。姫路や京阪神地区からの来駅も多く、サイクリングや自動二輪車の方の休憩スポットとしても認知が上がっています。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)情報発信ツールとして、公式LINE・Instagramの活用が順調に軌道にのっております。毎月のイベントカレンダーの情報や新商品の告知、お得な感謝祭の情報など、多くの来駅者様に伝達することができています。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)人員配置は、週間毎に天気予報や近隣地域のイベント等を考慮した売上予測を実施し、過剰にならないように努めた。 店内の情報共有はアプリを活用することで、迅速に共有することが出来た。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか？	☐ ①できた ☒ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)今年度は、バーベキューテーブルや休憩設備備品の更新、そしてファーストフード売場増設に伴う備品購入が発生したため、経費全体としては増加しましたが、消耗品や水光熱の管理については、抑制できるよう努めています。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)今年度も売上収入を伸ばすことが出来ました。一部販売価格の見直しによる客単価UPや、ファーストフード売場増設が特に売上向上につながったと考えています。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

特にレストラン営業において、直接雇用者が減少しており、採用難であることを痛感しております。

引き続き求人強化するとともに、外国人スタッフ採用も検討していきます。

《施設所管課が実施・検討する事項》

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: 国民宿舎志んぐ荘 施設担当課: 産業部商工振興課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	C
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	C
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	C
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	C
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	C

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	C
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	C
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	C
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	C
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	C
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	C

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	C
5 特記事項 (成果、課題等)		労務管理上の問題が発生し、問題解決すべく、新たな基準で時間外勤務の賃金支払を実施した。また、冬期より人員減を補う為に緊急的に人材派遣会社を登用し人件費が大きく上昇した。 物価上昇に伴う仕入費、変動費の上昇や、運営上での経費コントロール(見直し)が行えておらず、期中に健全化に着手したが収支計画に大きく及ばなかった。 【人件費】人件費時間外勤務を役付手当として計上変更。冬期より人材派遣を登用。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由)憩いの場として、喫茶やランチバイキングで新メニューや地元食材を提供し情報発信を継続して行った。地元の公共施設と協力し学生団体の強化も引き続き行った。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由)地元利用の促進を継続的にを行い昨年の利用率を上回ることができた。しかしながら、運営面で不安定さをお客様が感じ、市に意見が届く場合があり、年間通じてサービス向上を図ることは出来なかった。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由)人件費での管理不足、仕入面の経費コントロール(見直し)が行えていなかった事で、効率性向上につながらなかった。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由)労務管理の改善に伴う人件費の計上変更、人員減を補う人材派遣の登用、物価上昇や経費コントロールが出来ておらず仕入費・変動費が全般的に上昇した。縮減に取り組む事が出来ていなかった。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
(理由)令和5年度と比較すると、来館者が3,973名増加、客単価は1,680円減、トータルでは42,500千円(税別)減少。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

運営面で、従業員が「適切な運営」が図れる、従業員体制・労務管理体制の構築・強化を行っていく。

経費上昇に伴う、経費コントロール(見直し)を実行。利用者の満足度を損なわない事を前提に、費用の低減策を図っていく。

基本協定に伴う「報告・手続き」について不備なく正しい報告を実行し、利用者への満足に繋げる。

《施設所管課が実施・検討する事項》

年度ごとの事業計画書により、業務計画の報告を受ける。

毎月の業務報告書、年度ごとの事業報告書により、管理、運営状況の把握をし、業績改善に向けて話し合い、指導を行う。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市新宮温水プール

施設担当課:

教育事業部スポーツ振興課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		【事業運営】利用者のニーズに合わせた教室(日曜教室、短期教室)の開催、体験キャンペーンなどを行うことにより、施設利用者の増加を図っている。 【利用状況】【予算執行】【収支状況】利用状況は、天井撤去工事の再開後は回復している。予算執行は、適正な管理運営により、今後においても黒字が見込める状況である。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)年間42,004人(前年比15,995人減)の方にサービスが提供できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)感染症対策として、スイミングクラブ協会やフィットネス協会のガイドラインをもとに独自の対策を展開し、利用者や会員の安全を確保した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)HP、屋外POP広告、公式ラインアカウントの取得などインターネットを活用した広告宣伝を行い新規の顧客獲得に向けた情報発信を行っている。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由)電力使用量は天井撤去工事に伴う臨時休館により減少している。ただし経費縮減としては、直営時と変わらない状況となっている。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☒ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)前年比14,209千円減、天井撤去工事に伴う臨時休館のため。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

営業時間の一部見直しを行うことで経費削減に努めつつ、魅力ある教室やイベントで利用者増を図る。

利用者のニーズを把握し、施設設備の更新も検討しつつ、市民満足度向上も目指していく。

不具合箇所、設備更新の状況管理

《施設所管課が実施・検討する事項》

開設後28年が経過し、快適な利用環境を提供できるよう、機器の更新を図る。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市福祉会館 施設担当課: 福祉部高年福祉課

評価項目		評価基準	評価
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	A
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	A
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	A
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	A

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	A
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	A
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	A
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		光熱費の削減のために不要な電気はこまめに消すなど節電しているが、共用部の空調機の効きをよくするための点検を定期検査とは別に実施するなど利用者が快適に過ごせる配慮も行っている。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由) 目的達成のため事業計画を適確に実施した。	
2 市民サービスの向上は図られたか	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由) たつの警察署仮庁舎からの駐車場返却後においては、利用者の車両への影響に配慮し、駐車場内に数多く残されていた釘や鉄線等の危険物の回収を行った。	
3 業務の効率性の向上は図られたか	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由) 会議室利用時の利便性向上に加え、避難所指定拠点でもあることから災害時対応力を高めることを目的に、老朽化したワイヤレスマイク装置を更新した。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由) 職員で対応できる修繕は対応した。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
(理由) 減免団体の利用は概ね例年通りではあるが令和5年度毎月4回利用していた一般団体が体調不良の関係で令和6年度使用がなかったため。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の老朽化による受水槽修繕が困難に至っている。

《施設所管課が実施・検討する事項》

経年劣化による施設の整備を計画的に実施する。

市民活動の活性化につながるよう新たな利用者を積極的に受け入れる。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市新宮ふれあい福祉会館 施設担当課: 福祉部高年福祉課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		・手話サークルなど新宮地域のボランティア活動の拠点となっている。 ・地元のこども園や小学校とも連携を図り、児童画展を開く等多世代交流の拠点としても機能している。 ・令和6年12月から入浴設備等改修工事を実施しているが、工事前及び工事中に施設利用者に対して施設の利用休止について丁寧な説明がなされたため、苦情や混乱を招くことなく運営できている。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由) 新宮地域のボランティアグループが福祉会館を拠点に継続した活動ができている。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由) 利用しやすい貸館として、大ホールや研修室等、再度の利用や継続利用がみられる。 安心・安全、安定的な市民サービス提供の維持に向けてお風呂の改修工事を行った。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由) 職員間の連携と業務委託により時間の削減を図り、故障等の非常時でも迅速な対応ができている。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由) お風呂改修工事の着工が12月であったため、その間の施設維持の対応に経費を要したこと、 一方で、縮減に努めつつも、経年劣化を受けた機械設備やトイレの給水管等の修繕、取替に費用を要した。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
(理由) お風呂等の改修工事に伴った令和6年12月からの休館に伴い減少 ※令和7年6月末まで(予定)	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設は、平成8年3月の竣工から28年を経過。お風呂に係る設備以外でも、緊急性を第一に、市民の安全性、機能停止時の損害等を鑑みつつ、計画的な保全と市民サービスの提供に努める。

《施設所管課が実施・検討する事項》

経年劣化による施設・設備等の計画的な修繕

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市御津やすらぎ福祉会館 施設担当課: 福祉部高年福祉課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	利用者が留まることの少ないロビーや廊下の電気をこまめに消すなど節電に努めている。経年劣化に伴うキュービクル、エレベータ基盤の交換など金額の大きな修繕について市と協議し、実施した。その他施設設備の不具合について、滞りなく市へ報告を行っている。自主事業として喫茶を営業し、地元住民の交流の場となっている。		
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由) 幼児から高齢者まで幅広い年代の住民が利用できる環境を整えた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由) 幅広い世代からのニーズを確認し対応した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由) 少ない職員数の中、健康課、児童福祉課と連携を図り効率的に業務を実施した。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由) 予算額より電気料金を抑えることができた。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
(理由) 有償使用者の減少による。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

就園前の幼児から高齢者まで幅広い層の市民が利用する施設となっている。利用者間の交流を進めることで、市民の居場所としてより多くの市民に利用していただけるよう検討する。

《施設所管課が実施・検討する事項》

経年劣化が進む施設の整備を実施し、利用促進につなげる。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市老人福祉センター

施設担当課:

福祉部高年福祉課

評価項目		評価基準	評価
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
--------	---------------------------------------	---

5 特記事項 (成果、課題等)	新たに直轄会員制度を創設し、単位老人クラブがない地域の方に対する活動の場の提供や、小規模の老人クラブに対する補助金の活用を行うなど、老人クラブ活動の活性化を図り、地域の高齢者の社会参加活動を推進している。
--------------------	--

※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 趣味クラブの活動により、高齢者の健康増進が図れている。	
2 市民サービスの向上は図られたか	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 趣味クラブ及び老人クラブ会員の出入りが多く、市民に利用しやすいセンターが図られている。	
3 業務の効率性の向上は図られたか	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) ネット環境が整備され、メール等でのやり取りで紙や時間の無駄をなくし事務効率が向上している。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 自前で修繕を行う等により無駄な経費の支出を抑え、管理料の現状維持が図れた。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☐ ②減少 ☒ ③直営時と変わらない
(理由)	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

経年劣化によるブラインドの修繕はあったものの現状維持が図れた。設備等の維持改善による市民サービスの向上はもちろんのこと、健康長寿社会に向けて、健康増進を図るためのセンターとして、各クラブ活動の実施とともに、栄養、運動のフレイル予防等を各課と連携して啓発を図っていく。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設利用の促進により、高齢者の社会活動の推進を図る。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市中央児童館

施設担当課：

福祉部児童福祉課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	A
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		市や関係団体と適切な連絡調整を行い、良好な施設運営を継続している。 【連絡調整】必要に応じて連絡や報告をしているためA評価とした。 【利用者対応】開設時間に合わせた準備をし、利用者に優しく声をかけ丁寧な対応をするとともに、備品等を適切に提供しているためA評価とした。 【事業運営】【利用者アンケート】利用者の意見を聴きながら、季節に応じた装飾や行事を行い、利用者が楽しめる環境を整えたためA評価とした。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)年代に合わせた7種類のクラブ活動、えほんの貸出などの毎月の事業のほか、季節に合わせた行事を企画すると	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)小中高校生向けの交流や学びの場として、Wi-Fiが利用可能な学習室を常時開放し、利用のぎやけつくりとしている。 運動会実施の際には、中学生高校生のボランティアを募集し、中高生が児童館で活動できるきっかけとしてい	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)正規職員とパート職員の連携を図り、対応の意思統一を図ることで、利用者に対してスムーズな対応を実施している。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由)職員配置を工夫することで人件費を抑え、事業全体の経費削減に努めている。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☐ ②減少 ☒ ③直営時と変わらない
(理由)条例の規定により、利用料金の徴収なし。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の清掃・美化・遊具の安全点検に努める。

幅広い年齢層の利用促進をする。

《施設所管課が実施・検討する事項》

人件費等の支出を抑制し、運営できる体制を整える。

こどもの居場所の一つとして、小中高生が利用し、交流や活動ができる環境を作る。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市はつらつセンター入浴施設 施設担当課:

健康部健康課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	A
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A
制	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理が出来ている。 入浴中の事故防止策として、入浴前の血圧測定や体調管理の声掛けを行っている。 令和7年4月の利用料の値上がりに対する回数券の駆け込み購入があり、売り上げが増加している。		
※ 評価区分	①評価基準 ↓	A(優良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)利用者数は、確実に増加し、市民の健康づくりと市民相互のふれあいの場として活用されている。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)修繕が必要な場所について迅速に対応し、安全安心な施設として利用されている。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)職員間の連絡、声掛け、確認を行い、業務の効率性の向上を図った。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☐ ①できた ☒ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)光熱水費、消耗器具備品費の増加により維持管理費用は増額した。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)令和5年度が前年度と比較で10,919人増、今年度も18,523人増となり収入増となっている。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の清掃・美化、感染防止に努める。

入浴中の事故(心疾患や脳血管障害による意識障害等)を防止するため、職員の声かけにより入浴前の血圧測定など、入館者の自己管理を促す。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設が建設されてから22年が経過し、快適な利用環境が提供できるよう、機器や設備の更新を順次図っていく。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市揖西コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」「総括」による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理を行っている。		
※ 評価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)ヨガやステンドグラス教室、歴史セミナーなど各種講座を通じて、住民の学習意欲に寄与した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)担当課との連携により、効率よく事務遂行している。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)環境整備作業・修繕等、運営委員で実施できることは外注せずに実施している。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)選挙2回と書写教室の定期利用で、予算を達成できた。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

過去利用実績のない営業利用の問い合わせがあり、定着させたい。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の長期的な維持管理を目的に修繕箇所等の調査を行い、利用者が快適に利用できる環境づくりに努める。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市揖保コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

★モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた	☐ ②できなかった	☐ ③直営時と変わらない
①(理由) 利用者アンケートでは利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。			
2 市民サービスの向上は図られたか	☒ ①図られた	☐ ②図られなかった	☐ ③直営時と変わらない
①(理由) 寄せ植え、靴作り、歴史セミナーそば教室など各種講座を通じて、住民の学習意欲に寄与した。			
3 業務の効率性の向上は図られたか	☒ ①図られた	☐ ②図られなかった	☐ ③直営時と変わらない
①(理由) 事務員1人でも、計画を立て手順良く遂行できた。			
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☒ ①できた	☐ ②できなかった	☐ ③直営時と変わらない
①(理由) 必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。			
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加	☐ ②減少	☐ ③直営時と変わらない
①(理由) 減免団体の利用も多く、大きな変化はない。			

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

利用者のアンケートや声を通して、学習意欲につながるような講座等を工夫していく。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の長期的な維持管理を目的に修繕箇所等の調査を行い、利用者が快適に利用できる環境づくりに努める。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市萱田コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」「総括」による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理を行っている。		
※ 評価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由)地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由)ちぎり絵、ふるさと料理、花とみどり教室など各種講座を通じて、住民の学習意欲に寄与した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由)ミスやトラブルがなく、安定した運営ができています。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由)利用者や運営委員と協力し、自分たちでできることは実施している。まとめ買いをするなど、経費節約に努めている。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
(理由)主催事業の講座が増えたため、利用料が増えた。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

自主講座を増設する等の工夫で、利用者の増加に努める。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の長期的な維持管理を目的に修繕箇所等の調査を行い、利用者が快適に利用できる環境づくりに努める。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市神岡コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理を行っている。		
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた	☐ ②できなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由)アンケートからも利用満足度が高いことがうかがえる。			
2 市民サービスの向上は図られたか	☒ ①図られた	☐ ②図られなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由)料理・お菓子作り教室、夏休みこども教室など各種講座を通じて、住民の学習意欲に寄与した。			
3 業務の効率性の向上は図られたか	☒ ①図られた	☐ ②図られなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由)運営委員、担当課と連携し、迅速に業務対応できている。			
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☒ ①できた	☐ ②できなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由)突発的な修繕や備品の購入に備えてできるだけ節約に心がけている。			
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加	☐ ②減少	☐ ③直営時と変わらない
(理由)利用件数が増加した。			

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

清掃や草刈り等快適な環境づくりをできる範囲で運営委員等で実施し、施設の維持管理に努める。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の長期的な維持管理を目的に修繕箇所等の調査を行い、利用者が快適に利用できる環境づくりに努める。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市西栗栖コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか	①図られた ②図られなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 感染防止対策などを徹底して安心して利用できるようにサービス向上に努めた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか	①図られた ②図られなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 事務員1人でも、無駄な工程を省くなど工夫し作業効率を上げている。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	①できた ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由) 必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
(理由) イベント等があり、増えた。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

アンケートを増やし、利用者の声を反映する。

清掃の徹底や備品管理などを行い、快適な環境づくりを目指す。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設利用を促進するために、新たな利用者の開拓と空きスペースなどの活用について検討を行う。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市東栗栖コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	-
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価	B
--------	---------------------------------------	---

5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理できている。
--------------------	------------------

※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 修繕・清掃・衛生管理を徹底し、快適な環境づくりに努めた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 事務員1人だが、市役所と連携し、事務効率化は図られている。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 不要な支出を見直すなどできる限りの節約に努めている。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由) R5では選挙での会場使用料がなかったがR6年度は選挙使用料があったため。(選挙使用料の増)	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

清掃・衛生管理の強化など快適な環境づくりに努め、経年劣化による修繕を、市と連携して進めていきたい。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の長期的な維持管理のため、修繕箇所等の調査を行い、利用者が快適に施設を利用できるよう環境づくりに努める。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市香島コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理ができているが、光熱費水道費が支出の約55%を占めているので、突発的な不具合が発生しない様に注意する。		
※ 評価 区分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由)トラブルや苦情もなく、利用満足度も高く、施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由)コミセンがより気軽に利用できるよう、喫茶スペースを利用し、交流ができるよう努めている。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由)運営委員及び市役所と連携し、効率よく業務が行えた。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか？	☒ ①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由)年々収入が減少していることもあり、無駄なものは徹底して省いている。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
(理由)R5では選挙での会場使用料がなかったが、R6は選挙使用料があったため。	

【今後の業務改善に向けた考え方】
《指定管理者が実施・検討する事項》
清掃、衛生管理の強化、快適な環境づくりに努める。
光熱水費、支出の節約に努める。
《施設所管課が実施・検討する事項》
施設利用を促進するため、空きスペースなどの活用について検討を行う。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市越部コミュニティセンター 施設担当課: 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	—
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	—
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特になし。		
※ 評価区分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた	☐ ②できなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由)利用者も少しではあるが増加し、トラブルもなく施設運営できた。			
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた	☐ ②図られなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由)利用者が気持ちよく利用できるよう清掃等による環境整備を徹底した。			
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた	☐ ②図られなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由)事務員複数名で業務遂行し、効率化を図ることができた。			
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☒ ①できた	☐ ②できなかった	☐ ③直営時と変わらない
(理由)運営委員と協力して節約している。			
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加	☐ ②減少	☐ ③直営時と変わらない
(理由)利用件数の増加により、利用料が増加した。			

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

利用者アンケートにより、利用者等の意見及び要望を把握して業務に反映させる。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設利用を促進するため、空きスペースなどの活用について検討を行う。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市半田コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価【標準16項目／本施設16項目】	B

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)利用者からの苦情や問題もなく、スムーズな運営ができています。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)出前講座等を利用した自主事業を実施し、市民の学習意欲を向上させる事業を行った。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)運営委員及び市役所と連携し、効率よく迅速に業務を行った。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☒ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)月一回開催していた着付け教室がなくなったため。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

アンケート実施による市民からの要望等を検討し、業務改善に努める。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の整備・設備の修繕箇所等を調査し、施設の維持管理に努める。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市河内コミュニティセンター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
1 実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価	「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価		B
5 特記事項 (成果、課題等)	特に問題なく施設管理を行っている。		
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由) 地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由) ふれあい活動を通じて地域住民の連帯意識を高められた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由) 運営委員と協力し、業務の効率化は図られた。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由) まとめ買いをしたり、必要に応じて業務を運営委員や事務員などでできることはしている。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
① (理由) R5では選挙での会場使用料がなかったが、R6年度は選挙使用料があったため	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

利用者アンケート実施を通じて、利用者からの意見を収集し、業務に反映させる。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設利用を促進するため、空きスペースなどの活用について検討を行う。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名:

たつの市室津センター

施設担当課:

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実施体制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	A
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

業務内容・水準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	A
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	A
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	A

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「4 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由)地域住民の利用満足度も高く施設設置の目的は達成できた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由)トイレなど、老朽化により傷んだところを修繕することにより利用者の使用しやすい環境を整えた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由)運営関係者及び利用者と情報の共有がスムーズで、連携が取れているため効率化は図られている。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由)少ない予算でできる限りの経費節約をしている。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
(理由)R6では選挙が2回あり、会場使用料の増額があった。(R5年度は選挙使用料がなかった)	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

利用者とのコミュニケーションの充実を図られているので、この体制を崩すことなく持続させていこう努める。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の長期的な維持管理を目的に修繕箇所等の調査を行い、利用者が快適に利用できる環境づくりに努める。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： たつの市総合文化会館赤とんぼ文化ホール 施設担当課： 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
水 準	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
水 準	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
水 準	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。 施設設備の経年劣化により、今後設備改修を計画的に行っていく必要がある。 童謡事業等イベントによる増により利用者数が増加した。(令和5年度:1,263件 72,609人 令和6年度:1,157件 82,971人)	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 自主事業と施設の貸館業務により文化・芸術の振興及び地域文化の向上が図れた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 子どもから高齢者までの様々な年齢層を対象に幅広いジャンルの公演が行えた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 各職員の担当業務をそれぞれに共有し、効率よく迅速に業務が行えた。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか	☐ ①できた ☒ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 光熱水費:空調稼働増や電気・水道使用量の増で光熱水費が増額となった。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☒ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由) 1件あたりの利用単価が減少し、利用料収入が減った。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の維持管理に努める。

ホームページ、広告等による宣伝強化。

《施設所管課が実施・検討する事項》

開館後28年が経過し、経年劣化による施設の整備、設備の更新等を実施する。

業務に必要な人員確保と配置を行う。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市総合文化会館アクアホール 施設担当課: 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。 施設設備の経年劣化により、今後設備改修を計画的に行っていく必要がある。 1件あたりの来場者数の増により利用者数が増加した。(令和5年度:1,291件 38,151人 令和6年度:1,297件 41,679人)	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)自主事業と施設の貸館業務により文化・芸術の振興及び地域文化の向上が図れた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)地域に密着した市民参加型の事業を中心とした公演が行えた。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)各職員の担当業務をそれぞれに共有し、効率よく迅速に業務が行えた。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☐ ①できた ☒ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)光熱水費:空調稼働増や電気・水道使用量の増で光熱水費が増額となった。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)1件あたりの利用単価が増加し、利用料収入が増えた。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の維持管理に努める。

ホームページ、広告等による宣伝強化。

《施設所管課が実施・検討する事項》

開館後23年が経過し、経年劣化による施設の整備、設備の更新等を検討する。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市青少年館 施設担当課: 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。 施設設備の経年劣化により、今後設備改修を計画的に行っていく必要がある。 利用件数の減により利用者数が減少した。(令和5年度:2,523件 51,478人 令和6年度: 2,700件 69,431人)	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)自主事業と施設の貸館業務により文化・芸術の振興及び地域文化の向上が図れた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)多様な教養講座やラケットボールの普及を通して文化とスポーツの両面の事業展開を行った。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)各職員の担当業務をそれぞれに共有し、効率よく迅速に業務が行えた。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか	☐ ①できた ☒ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)光熱水費:空調稼働増や電気・水道使用量の増で光熱水費が増額となった。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☒ ①増加 ☐ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)1件あたりの利用単価が増加し、利用料収入が増えた。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の維持管理に努める。

ホームページ等による宣伝強化。

《施設所管課が実施・検討する事項》

開館後43年が経過し、経年劣化による施設の整備、設備の更新等を検討する。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名：

霞城館

施設担当課：

教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。 利用者数の減により利用料金が減少した。(令和5年度:5,679人 令和6年度:4,787人)	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)たつの市出身の文化人に関する文献・資料の展示と顕彰・啓発事業が行えた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)展示・事業を通じ、地域文化の向上と来館者の意識高揚に寄与した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)各職員の担当業務をそれぞれに共有し、効率よく迅速に業務が行えた。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由)必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☒ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)利用者数の減により利用料金が減少した。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の維持管理に努める。

ホームページ等による宣伝強化。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の整備、設備の修繕等を調査・検討する。

必要な資格、経験等を有する人員確保に努める。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名： 矢野勘治記念館 施設担当課： 教育事業部社会教育課

評価項目		評価基準	評価
実 施 体 制	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	B
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
	【1 総括】	業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
	【2 総括】	業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費縮減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価 【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		特に問題なく施設管理を行っている。 利用者数の減により利用料金が減少した。(令和5年度:5,679人 令和6年度:4,787人)	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	☒ ①できた ☐ ②できなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)たつの市出身の文化人に関する文献・資料の展示と顕彰・啓発事業が行えた。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)展示・事業を通じ、地域文化の向上と来館者の意識高揚に寄与した。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	☒ ①図られた ☐ ②図られなかった ☐ ③直営時と変わらない
(理由)各職員の担当業務をそれぞれに共有し、効率よく迅速に業務が行えた。	
4 経費縮減(管理経費等)ができたか	☐ ①できた ☐ ②できなかった ☒ ③直営時と変わらない
(理由)必要最低限の経費でこれ以上の縮減は難しい。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	☐ ①増加 ☒ ②減少 ☐ ③直営時と変わらない
(理由)利用者数の減により利用料金が減少した。	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

施設の維持管理に努める。

ホームページ等による宣伝強化。

《施設所管課が実施・検討する事項》

施設の整備、設備の修繕等を調査・検討する。

令和6年度 業務総括評価票、総合評価票

業務総括評価票【第3号様式】

施設名: たつの市本龍野駅観光交流施設 施設担当課: 都市政策部都市計画課

評価項目		評価基準	評価
1	人員体制	事業計画書に即し、人員を過不足なく配置している。	A
		必要な資格、経験等を有する人員が確保されている。	B
		事業計画書に即し、計画的に研修等を実施している。	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B
		外部委託事業に対して協定書等を遵守させている。	B
	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B
	個人情報保護	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表している。	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B
連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されている。	B	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っている。	B	
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B
【1 総括】		業務の実施体制に関する評価 【標準16項目／本施設16項目】	B

2 業 務 内 容 ・ 水 準	施設管理	協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守している。	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇について適切である。	B
	事業運営	事業計画書に即し、受託業務を実施している。	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施している。	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行っている。	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行い、市に報告している。	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B
	苦情等対応	苦情、要望等に対して迅速かつ適切に対応している。	B
		苦情、要望等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B
	利用状況	利用者数、稼働率等は適正な水準にある。	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果は妥当である。	B
【2 総括】		業務の内容・水準に関する評価 【標準17項目／本施設17項目】	B

3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B
	経費削減	経費が節減され、又はその節減に向けた努力を行っている。	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B
	【3 総括】	経費の収支等に関する評価【標準4項目／本施設4項目】	B

4 総合評価		「1 実施体制」「2 業務内容・水準」「3 収支等」【総括】による総合評価	B
5 特記事項 (成果、課題等)		【人員体制】 観光案内所において、利用者の利便性向上とサービスの質の維持・向上を目的に、業務体制を見直し適切な人員配置を行ったことで安定的かつ円滑な施設運営が実現されているためA評価とした。	
※ 評 価 区 分	①評価基準 ↓	A(優 良) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 B(良 好) 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理内容である。 C(要改善) 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に改善事項がある。	
	②【総括】 ↓	評価基準で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを【総括】の評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を【総括】の評価とする。	
	③総合評価	各【総括】で評価したA、B、Cの個数で最も多いものを総合評価とする。 ただし個数が同数であった場合は、より高い評価を総合評価とする。	

☆モニタリング総合評価票【第4号様式】

〈主な回答〉

1 施設の設置目的は達成できたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由)観光・地域情報の発信拠点として、観光案内所での特産物の展示・販売、観光案内などを行っている。 地域の交流活動の場として、各教室やイベントの開催を行っている。	
2 市民サービスの向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由)施設が常に清潔で美しくあるよう清掃や修繕による維持管理を行い、利用者が利用しやすい環境の提供に取り組み、駅利用者の利便性向上を図っている。姉妹都市の商品を取り入れるなど、観光客や地域の方にもPRできる商品の販売促進を図っている。	
3 業務の効率性の向上は図られたか？	①図られた ②図られなかった ③直営時と変わらない
(理由)人員の増員を行い、各業務に必要な人員を適切に配置することで業務の効率化が図られている。	
4 経費削減(管理経費等)ができたか？	①できた ②できなかった ③直営時と変わらない
(理由)国の電気料金補助がなくなったため光熱水費が増額している。	
5 利用料金(使用料)等の収入が増えたか？	①増加 ②減少 ③直営時と変わらない
(理由)コミセンまつり等のイベント開催が増え、観光交流施設を訪れる人が増加したため、利用者数は増加しているが、利	

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

新型コロナウイルス感染症により、これまで規模縮小、中止してきたイベント等集客に関する取り組み内容を検討していく。
電気料金について、料金算定体系に基づき、定額料金の少額化のため、可能な限り節電に取り組む。

《施設所管課が実施・検討する事項》

経年劣化が進んでいる箇所も出てきているため、順次必要箇所の修繕が必要。電灯のLED化検討。
新型コロナウイルス感染症終息に伴う観光客増加に向け、指定管理者と連携したサービス向上のための取り組みの検討。